

3類型	観光資源	通巻番号	6 - 20 - 047
地域資源名	皆生温泉	認定日	平成20年9月12日
地域	鳥取県米子市	所管省庁	経済産業省・国土交通省

事業名：健康・保養をテーマとして新しいコンセプトに基づく現代型湯治の創造と販路開拓

会社名：合同会社 皆生未来開発

所在地：鳥取県米子市皆生温泉3 - 1 - 1

連絡先：TEL：0859 - 34 - 2888
FAX：0859 - 22 - 7415

H P：http://www.kaike-onsen.com

事業概要(新たな活用の視点)

全国の多くの温泉地と同様に、宿泊客が減少し続ける中で、皆生温泉では、塩分の多い泉質を活用した「脂肪燃焼入浴」夜の会席・朝食のカロリーを抑えた「ビューティーレシピ」前浜の海岸散策など「オフィシャルツアー」を組み合わせた新しい旅行プラン【スリミングステイ】を開発した。

本事業では、新プランを機軸に健康づくりを旅に取り込む「ヘルシーツーリズム」への取組を強化して、日本トライアスロンの発祥の地でもある皆生温泉の活性化を目指す。



売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

競争力

海と砂浜と松林が織り成す景観、背後には名峰「大山」そして、西方には親子連れで賑う「水木しげるロード」など、豊かな自然と行楽地に隣接する当温泉はバラエティーに富んだ周辺ツアーを楽しむことができる。



市場性

最近の旅のスタイルは、物見遊山的な旅行から訪れる地域の自然・生活文化・人とのふれあいを求める方向に変化しており、中でも「エコツーリズム」「ヘルスツーリズム」等のニーズが着実に高まっている。



販路

新たに設立した(合)皆生未来開発を第三種旅行業に登録して、インターネットを通じた直接販売に取り組むと共に、大手だけでなく中小旅行代理店への働きかけを強め、販路の拡大を図る。



地域資源における関係事業者との連携

鳥取県、近隣市町並びに地元観光関係団体との連携および「大山・中海・隠岐エコツーリズム協議会」との連携を一層強化し、魅力的な地元発着ツアーを整備する。